

製品名: PHD1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00461**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

抗原情報

遺伝子名	EGLN2
別名	Estrogen-induced tag 6; HPH-3; PHD1
遺伝子 ID	112398
SwissProt ID	Q96KS0
免疫原	-

背景

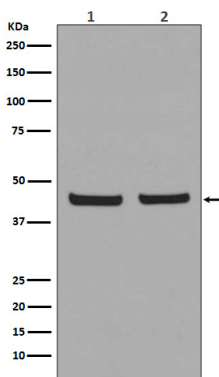
細胞内酸素センサーであり、常酸素条件下で低酸素誘導因子（HIF） α タンパク質中の4-ヒドロキシプロリンの翻訳後形成を触媒す

る。HIF1Aの酸素依存性分解(ODD)ドメイン(N末端NODDおよびC末端CODD)それぞれに存在する特定のプロリンを水酸化する。また、HIF2Aも水酸化する。HIF1AとHIF2Aの両方において、CODD部位を優先的に水酸化する。水酸化されたHIFは、フォン・ヒッペル・リンドウユビキチン化複合体を介してプロテアソーム分解の標的となる。

研究分野

心血管系

画像データ



(1) HeLa 溶解物、(2) A549 溶解物中の PHD1 抗体を用いたウェスタンブロット解析。